設定ファイルの取り扱い

この章の内容は、次のとおりです。

- コンフィギュレーション ファイルの概要 （1 ページ）
- コンフィギュレーション ファイルのライセンス要件 （2 ページ）
- 設定ファイルの注意事項および制限事項 （2 ページ）
- コンフィギュレーション ファイルの管理 （2 ページ）
- 設定アーカイブおよび設定ログ （16 ページ）
- デバイス コンフィギュレーションの確認 （20 ページ）
- コンフィギュレーション ファイルを使用した作業例 （20 ページ）
- コンフィギュレーション ファイルに関する追加情報 （22 ページ）

コンフィギュレーション ファイルの概要

コンフィギュレーションファイルには、Cisco NX-OSデバイス上の機能を設定するために使用されるCisco NX-OS ソフトウェアのコマンドが保存されます。コマンドは、システムを起動したとき（スタートアップ コンフィギュレーション ファイルから）、またはコンフィギュレーション モードで CLI にコマンドを入力したときに、Cisco NX-OS ソフトウェアによって解析（変換および実行）されます。

To change the startup configuration file, you can either save the running-configuration file to the startup configuration using the **copy running-config startup-config** command or copy a configuration file from a file server to the startup configuration.

コンフィギュレーション ファイルのタイプ

Cisco NX-OS ソフトウェアのコンフィギュレーション ファイルには、実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの2種類があります。デバイスは、その起動時にスタートアップ コンフィギュレーション（startup-config）を使用して、ソフトウェア機能を設定します。実行コンフィギュレーション（running-config）には、スタートアップコンフィギュレーションファイルに対して行った現在の変更が保存されます。2つのコンフィギュレーションファイルは別々の設定にできます。デバイス構成は、永続的ではなく一時的に変更することもできます。この場合は、グローバル コンフィギュレーション モードのコマンドを使用

して実行コンフィギュレーションを変更しますが、それらの変更をスタートアップ コンフィギュレーションには保存しません。

To change the running configuration, use the **configure terminal** command to enter global configuration mode. Cisco NX-OS コンフィギュレーション モードの使用時には通常、コマンドはすぐに実行され、入力直後またはコンフィギュレーションモードを終了した時点で実行コンフィギュレーション ファイルに保存されます。

スタートアップコンフィギュレーションファイルを変更するには、実行コンフィギュレーション ファイルをスタートアップ コンフィギュレーションに保存するか、コンフィギュレーション ファイルをファイル サーバからスタートアップ コンフィギュレーションにダウンロードします。

関連トピック

実行コンフィギュレーションのスタートアップ コンフィギュレーションへの保存 （4 ページ）
リモート サーバからのスタートアップ コンフィギュレーションのダウンロード （7 ページ）

コンフィギュレーション ファイルのライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

製品	ライセンス要件
Cisco NX-OS	コンフィギュレーション ファイルにライセンスは必要ありません。ライセンス パッケージに含まれていない機能はすべて Cisco NX-OS システム イメージにバンドルされており、追加費用は一切発生しません。Cisco NX-OS のライセンス方式の詳細については、『*Cisco NX-OS Licensing Guide*』を参照してください。

設定ファイルの注意事項および制限事項

設定ファイルの注意事項および制約事項は次のとおりです。

- Beginning with NX-OS 7.0(3)I7(4), the **reload timer** command is supported to enable a reboot after a delay of 5 -60 seconds.

コンフィギュレーション ファイルの管理

ここでは、コンフィギュレーション ファイルの管理方法について説明します。

スタートアップコンフィギュレーションへのコンフィギュレーション ファイルのコピー

デバイスをリロードせずに、FTPまたはSCP経由でコンフィギュレーション ファイルをスタートアップ コンフィギュレーションに直接コピーできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**copy** *scheme://[user@]server/[url/]filename* **startup-config** 例： `switch(boot)# copy scp://user@123.40.56.78/wp/user/abc_cfg startup-config`	SCPまたはFTP経由でコンフィギュレーション ファイルをスタートアップ コンフィギュレーションに直接コピーします。For the *scheme* argument, you can enter either **ftp** or **scp**.*user@* 引数はユーザ名、*server* 引数はリモート サーバのアドレスまたは名前、*url* 引数はリモート サーバにあるソース ファイルへのパスです。 *user@*、*server*、*url*、および *filename* 引数は、大文字と小文字が区別されます。 このプロセスでは、デバイスをリロードする必要はありません。

コンフィギュレーション ファイルをリモート サーバに（またはリモート サーバから）コピーするための送信元インターフェイスの設定

リモート サーバへ（またはリモートサーバから）コンフィギュレーション ファイルをコピーする場合に送信元インターフェイスを設定できます。送信元インターフェイスには次のものがあります。

- イーサネット
- ループバック
- 管理
- ポート チャネル
- VLAN

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**copy** *scheme://server/[url/]filename* **source-interface** *type source/port* 例： `copy sftp://user@12.345.678.9//wp/user/abc_config . source-interface ethernet 1/5`	コンフィギュレーション ファイルをリモート サーバに（またはリモート サーバから）コピーする場合に送信元インターフェイスを使用するように設定します。 scheme 引数として、**tftp**、**ftp**、**scp**、**http**、または **sftp** を指定できます。*server* 引数は、リモート サーバのアドレスまたは名前であり、*url* 引数はリモート サーバにあるソース ファイルへのパスです。 *server*、*url*、および *filename* の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。

実行コンフィギュレーションのスタートアップコンフィギュレーションへの保存

実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションに保存して、デバイスを次にリロードするときのために変更を保存することができます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	（任意） **show running-config** 例： `switch# show running-config`	実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ 2	**copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

リモート サーバへのコンフィギュレーション ファイルのコピー

内部メモリに保存されたコンフィギュレーション ファイルをリモート サーバにコピーして、バックアップとして使用したり、他の Cisco NX-OS デバイスを設定するために使用したりすることができます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**copy running-config** *scheme*:*//server/*[*url /*]*filename* 例： `switch# copy running-config tftp://10.10.1.1/sw1-run-config.bak`	リモートサーバへ実行コンフィギュレーション ファイルをコピーします。 For the *scheme* argument, you can enter **tftp:**, **ftp:**, **scp:**, **sftp:**, **http:**, or **https:**.*server* 引数は、リモート サーバのアドレスまたは名前であり、*url* 引数はリモート サーバにあるソース ファイルへのパスです。 *server*、*url*、および *filename* の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。
ステップ 2	**copy startup-config** *scheme*:*//server/*[*url /*]*filename* 例： `switch# copy startup-config tftp://10.10.1.1/sw1-start-config.bak`	スタートアップ コンフィギュレーション ファイルをリモート サーバにコピーします。 For the *scheme* argument, you can enter **tftp:**, **ftp:**, **scp:**, **sftp:**, **http:**, or **https:**.*server* 引数は、リモート サーバのアドレスまたは名前であり、*url* 引数はリモート サーバにあるソース ファイルへのパスです。 *server*、*url*、および *filename* の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。

例

次に、リモート サーバへコンフィギュレーション ファイルをコピーする例を示します。

```
switch# copy running-config
tftp://10.10.1.1/sw1-run-config.bak
switch# copy startup-config
tftp://10.10.1.1/sw1-start-config.bak
```

リモート サーバからの実行コンフィギュレーションのダウンロード

別の Cisco NX-OS デバイスで作成し、リモート サーバにアップロードしたコンフィギュレーション ファイルを使用して、Cisco NX-OS デバイスを設定できます。リモート サーバからデバイスの実行コンフィギュレーションにファイルをダウンロードするには、TFTP、FTP、セキュア コピー（SCP）、セキュア シェルFTP（SFTP）、HTTPS、またはHTTP を使用します。

始める前に

ダウンロードするコンフィギュレーション ファイルが、リモート サーバの正しいディレクトリにあることを確認します。

ファイルに対する許可が正しく設定されていることを確認します。ファイルのアクセス権は、誰でも読み取り可能に設定されている必要があります。

Cisco NX-OS デバイスがリモート サーバにルーティングされることを確認します。サブネット間でトラフィックをルーティングするルータまたはデフォルト ゲートウェイがない場合、Cisco NX-OS デバイスとリモート サーバは同一のサブネットワーク内にある必要があります。

Check connectivity to the remote server using the **ping** or **ping6** command.

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**copy** *scheme*:*//server/*[*url/*]*filename* **running-config** 例： `switch# copy tftp://10.10.1.1/my-config running-config`	リモート サーバから実行設定ファイルをダウンロードします。 For the *scheme* argument, you can enter **tftp:**, **ftp:**, **scp:**, **sftp:**, **http:**, or **https:**.*server* 引数は、リモート サーバのアドレスまたは名前であり、*url* 引数はリモート サーバにあるソース ファイルへのパスです。 *server*、*url*、および *filename* の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。
ステップ 2	（任意） **show running-config** 例： `switch# show running-config`	実行設定を表示します。
ステップ 3	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	実行設定を、スタートアップ設定にコピーします。
ステップ 4	（任意） **show startup-config** 例： `switch# show startup-config`	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

リモート サーバからのスタートアップ コンフィギュレーションのダウンロード

別の Cisco NX-OS デバイスで作成し、リモート サーバにアップロードしたコンフィギュレーション ファイルを使用して、Cisco NX-OS デバイスを設定できます。リモート サーバからデバイスのスタートアップ コンフィギュレーションにファイルをダウンロードするには、TFTP、FTP、セキュア コピー（SCP）、セキュア シェル FTP（SFTP）、HTTP、または HTTPS を使用します。

注意 この手順を実行すると、Cisco NX-OS デバイス上のすべてのトラフィックが中断されます。

始める前に

コンソール ポート上のセッションにログインします。

ダウンロードするコンフィギュレーション ファイルが、リモート サーバの正しいディレクトリにあることを確認します。

ファイルに対する許可が正しく設定されていることを確認します。ファイルのアクセス権は、誰でも読み取り可能に設定されている必要があります。

Cisco NX-OS デバイスがリモート サーバにルーティングされることを確認します。サブネット間でトラフィックをルーティングするルータまたはデフォルト ゲートウェイがない場合、Cisco NX-OS デバイスとリモート サーバは同一のサブネットワーク内にある必要があります。

Check connectivity to the remote server using the **ping** or **ping6** command.

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**write erase** **例**： `switch# write erase`	スタートアップ コンフィギュレーション ファイルを削除します。

ステップ 2	**reload**
	例：
	`switch# reload`
	`This command will reboot the system. (y/n)?  [n] y`
	`...`
	`Enter the password for "admin": <password>`
	`Confirm the password for "admin": <password>`
	`...`
	`Would you like to enter the basic configuration`
		Cisco NX-OS デバイスをリロードします。
		（注） デバイスを設定するために、セットアップ ユーティリティを使用しないでください。

	コマンドまたはアクション	目的
	`dialog (yes/no): n` `switch#`	
ステップ 3	**copy** *scheme*:*//server/*[*url /*]*filename* **running-config** 例： `switch# copy tftp://10.10.1.1/my-config running-config`	リモート サーバから実行設定ファイルをダウンロードします。 For the *scheme* argument, you can enter **tftp:**, **ftp:**, **scp:**, **sftp:**, **http:**, or **https:**.*server* 引数は、リモート サーバのアドレスまたは名前であり、*url* 引数はリモート サーバにあるソース ファイルへのパスです。 *server*、*url*、および *filename* の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。
ステップ 4	**copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	実行設定ファイルをスタートアップ コンフィギュレーション ファイルとして保存します。

	コマンドまたはアクション	目的
		（注） You can use the **copy** {**ftp:** | **scp:** | **sftp:** | **tftp:** | **http:** | **https:**}*source-url* **startup-config** command to copy a configuration file from a network server to the switch startup configuration. このコマンドは、コピーされたコンフィギュレーション ファイルによりスタートアップ コンフィギュレーション ファイルを置き換えます。 Cisco NX-OS Release 6.0(2) U 2(1) から、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルは ASCII テキスト ファイルとして保存され、コンフィギュレーション ファイル内のすべてのコマンドは次のブートアップ中に実行され、バイナリ コンフィギュレーション ファイルが生成されます。This is equivalent to booting with **write erase** and applying configuration commands individually on reload. スタートアップ コンフィギュレーション ファイル内のすべてのコマンドがコンフィギュレーション コマンドとして実行されるため、ASCII コンフィギュレーション ファイルが有効になるのが遅くなる可能性があります。
ステップ 5	（任意） **show startup-config** **例：** `switch# show startup-config`	実行設定を表示します。

関連トピック

ファイルのコピー

外部フラッシュ メモリ デバイスへのコンフィギュレーション ファイルのコピー

後で使用するために、コンフィギュレーション ファイルをバックアップとして外部フラッシュ メモリ デバイスにコピーできます。

始める前に

外部フラッシュ メモリ デバイスを、アクティブなスーパーバイザ モジュールに挿入します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	（任意） **dir** {**slot0:** | **usb1:** | **usb2:**}[*directory/*] 例： `switch# dir slot0:`	外部フラッシュ メモリ デバイス上のファイルを表示します。
ステップ 2	**copy running-config** {**slot0:** |**usb1:** |**usb2:**} [ディレクトリ/]ファイル名 例： `switch# copy running-config slot0:dsn-running-config.cfg`	外部フラッシュ メモリ デバイスに実行コンフィギュレーションをコピーします。*filename* 引数では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	**copy startup-config** {**slot0:** | **usb1:** | **usb2:**}[*directory/*]*filename* 例： `switch# copy startup-config slot0:dsn-startup-config.cfg`	外部フラッシュ メモリ デバイスにスタートアップ コンフィギュレーションをコピーします。*filename* 引数では、大文字と小文字が区別されます。

関連トピック

ファイルのコピー

外部フラッシュ メモリ デバイスからの実行コンフィギュレーションのコピー

Cisco NX-OS デバイスを設定するには、別の Cisco NX-OS デバイスで作成され、外部フラッシュ メモリ デバイスに保存されたコンフィギュレーション ファイルをコピーします。

始める前に

外部フラッシュ メモリ デバイスを、アクティブなスーパーバイザ モジュールに挿入します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	（任意） **dir** {**slot0:** | **usb1:** | **usb2:**}[*directory/*] 例： `switch# dir slot0:`	外部フラッシュ メモリ デバイス上のファイルを表示します。
ステップ 2	**copy** {**slot0:** | **usb1:** | **usb2:**}[*directory/*]*filename* **running-config** 例： `switch# copy slot0:dsn-config.cfg running-config`	外部フラッシュ メモリ デバイスから実行コンフィギュレーションをコピーします。*filename* 引数では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	（任意） **show running-config** 例： `switch# show running-config`	実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ 4	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	実行設定を、スタートアップ設定にコピーします。
ステップ 5	（任意） **show startup-config** 例： `switch# show startup-config`	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

関連トピック

ファイルのコピー

外部フラッシュ メモリ デバイスからのスタートアップ コンフィギュレーションのコピー

Cisco NX-OS デバイス上のスタートアップ コンフィギュレーションを復元するには、外部フラッシュ メモリ デバイスに保存された新しいスタートアップ コンフィギュレーション ファイルをダウンロードします。

始める前に

外部フラッシュ メモリ デバイスを、アクティブなスーパーバイザ モジュールに挿入します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	（任意） **dir** {**slot0:** | **usb1:** | **usb2:**}[*directory/*] 例： `switch# dir slot0:`	外部フラッシュ メモリ デバイス上のファイルを表示します。
ステップ 2	**copy** {**slot0:** |**usb1:** |**usb2:**} [ディレクトリ/]ファイル名 **startup-config** 例： `switch# copy slot0:dsn-config.cfg startup-config`	外部フラッシュ メモリ デバイスからスタートアップ コンフィギュレーションをコピーします。*filename* 引数では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	（任意） **show startup-config** 例： `switch# show startup-config`	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

関連トピック

ファイルのコピー

内部ファイルシステムへのコンフィギュレーションファイルのコピー

後で使用するために、コンフィギュレーション ファイルをバックアップとして内部メモリにコピーできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**copy running-config** [*filesystem***:**][*directory/*] | [*directory/*]*filename* 例： `switch# copy running-config bootflash:sw1-run-config.bak`	実行コンフィギュレーション ファイルを内部メモリにコピーします。 *filesystem*、*directory*、および *filename* 引数は、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 2	**copy startup-config** [*filesystem***:**][*directory/*] | [*directory/*]*filename* 例： `switch# copy startup-config bootflash:sw1-start-config.bak`	スタートアップ コンフィギュレーション ファイルを内部メモリにコピーします。 *filesystem*、*directory*、および *filename* 引数は、大文字と小文字が区別されます。

関連トピック

ファイルのコピー

以前のコンフィギュレーションへのロールバック

メモリ破損などの障害が発生し、バックアップされたバージョンからコンフィギュレーションを復元することが必要になる場合があります。

（注） Each time that you enter a **copy running-config startup-config** command, a binary file is created and the ASCII file is updated. 有効なバイナリ コンフィギュレーション ファイルを使用すると、ブート全体の時間が大幅に短縮されます。バイナリ ファイルはアップロードできませんが、その内容を使用して既存のスタートアップ コンフィギュレーションを上書きできます。The **write erase** command clears the binary file.

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**write erase** 例： `switch# write erase`	スイッチの現在のコンフィギュレーションを削除します。
ステップ 2	**reload** 例： `switch# reload`	デバイスを再起動します。ブートして実行するデバイス用のキックスタートおよびシステム イメージ ファイルを提供するよう求められます。 （注） デフォルトで、**reload** コマンドは、スタートアップ コンフィギュレーションのバイナリ バージョンからデバイスをリロードします。 Cisco NX-OS 6.2(2) 以降、**reload ascii** コマンドを使用して、デバイスのリロード時にコンフィギュレーションの ASCII バージョンをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーできます。
ステップ 3	**copy** *configuration_file* **running-configuration** 例： `switch# copy bootflash:start-config.bak running-configuration`	以前に保存したコンフィギュレーション ファイルを実行コンフィギュレーションにコピーします。 （注） *configuration_file* ファイル名引数では、大文字と小文字が区別されます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	**copy running-config startup-config** 例： `switch# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

コンフィギュレーションの削除

デバイス上のコンフィギュレーションを削除して、工場出荷時のデフォルト値に戻すことができます。

デバイス上の永続メモリに保存された次のコンフィギュレーション ファイルを削除できます。

- 起動
- ブート
- Debug

（注） **write erase** コマンドを使用すると、次のものを除くすべてのスタートアップ コンフィギュレーションが削除されます。

- ブート変数定義
- 次のものを含む mgmt0 インターフェイス上の IPv4 コンフィギュレーション
  - アドレス
  - サブネット マスク

mgmt0 インターフェイスのブート変数定義と IPv4 コンフィギュレーションを削除するには、**write erase boot** コマンドを使用します。

重要 POAP はデフォルトで有効になっており、**write erase** および **reload** コマンドを使用した後にスイッチを使用できません。スイッチでコンフィギュレーションを削除しリロードした後にスイッチを使用するには、コンソールにアクセスできることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**write erase** [**boot** | **debug**] 例： `switch# write erase`	永続メモリのコンフィギュレーションを削除します。デフォルトのアクションでは、スタートアップ コンフィギュレーションが削除されます。

	コマンドまたはアクション	目的
	`Warning: This command will erase the startup-configuration.` `Do you wish to proceed anyway? (y/n) [n]` **y**	The **boot** option erases the boot variable definitions and the IPv4 configuration on the mgmt0 interface. The **debug** option erases the debugging configuration. （注） 実行コンフィギュレーションファイルは、このコマンドによって影響を受けません。

非アクティブなコンフィギュレーションのクリア

非アクティブな Quality of Service（QoS）または Access Control Lists（ACL）の設定をクリアできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	（任意） **show running-config** *type* **inactive-if-config** **例**： `# show running-config ipqos inactive-if-config`	非アクティブな ACL または QoS の設定をすべて表示します。 The values for the *type* argument are **aclmgr** and **ipqos**. • **aclmgr**— aclmgr の非アクティブなコンフィギュレーションを表示します。 • **ipqos**— qosmgr の非アクティブなコンフィギュレーションを表示します。

ステップ 2	**clear inactive-config** ポリシー
	例：
	`# clear inactive-config qos`
	`clear qos inactive config`
	`Inactive if config for QoS manager is saved at/bootflash/qos_inactive_if_config.cfg`
	
	`for vdc default & for other than default vdc: /bootflash/vdc_x/qos_inactive_if_config.cfg (where x is vdc number)`
	`you can see the log file @ show inactive-if-config log`
		非アクティブな設定をクリアします。
		The values for the *policy* argument are **qos** and **acl**.
		次に、値について説明します。
		• **qos**—非アクティブな QoS コンフィギュレーションをクリアします。
		• **acl**—非アクティブな ACL コンフィギュレーションをクリアします。
		• **acl qos**非アクティブな ACL コンフィギュレーションおよび非アク

	コマンドまたはアクション	目的
		ティブなQoSコンフィギュレーションをクリアします。
ステップ3	（任意） **show inactive-if-config log** 例： `# show inactive-if-config log`	非アクティブなコンフィギュレーションをクリアするのに使用されたコマンドを表示します。

設定アーカイブおよび設定ログ

このセクションには、設定アーカイブおよび設定ログに関する情報が含まれています。

設定アーカイブに関する情報

The configuration archive is intended to provide a mechanism to store, organize, and manage an archive of the configuration files to enhance the configuration rollback capability provided by the **configure replace** command. Before configuration archiving was introduced, you could save copies of the running configuration using the **copy running-config** *destination-url* command, storing the replacement file either locally or remotely. ただし、この方法ではファイルの自動管理を行うことはできませんでした。設定置換と設定ロールバック機能では、実行設定のコピーを自動的に設定アーカイブに保存できます。These archived files serve as checkpoint configuration references and can be used by the **configure replace** command to revert to the previous configuration states.

The **archive config** command allows you to save configurations in the configuration archive using a standard location and filename prefix that is automatically appended with an incremental version number (and optional timestamp) as each consecutive file is saved. この機能により、保存した コンフィギュレーション ファイルを一貫して識別できます。アーカイブに保存する実行コンフィギュレーションの数は指定することができます。アーカイブ内のファイル数が上限値に達すると、次に最新のファイルが保存されるときに、最も古いファイルが自動的に消去されます。The **show archive** command displays information for all configuration files saved in the configuration archive.

The configuration archive, wherein the configuration files are stored and are available for use with the **configure replace** command, can be located on the following file systems:

- お使いのプラットフォームが disk0--disk 0: disk1: ftp: pram: rcp: slavedisk0: slavedisk1: または tftp:
- お使いのプラットフォームが disk0--ブート フラッシュを持っていない場合: tftp:、および ftp:

（注） この機能の FTP と TFTP VRF 管理を使用します。

設定アーカイブの特性の設定

Before using the **archive config** command, the configuration archive must be configured. 構成アーカイブの特性を設定するには、次の作業を実行します:

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# **configure terminal** 例： `switch# configure terminal`	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# **archive** 例： `switch(config)# archive`	アーカイブ構成モードを開始します。
ステップ 3	switch(config-archive)# **path** *url* 例： `switch(config-archive)# path bootflash:myconfig`	コンフィギュレーションアーカイブに、ファイルの場所とファイル名プレフィックスを指定します。 • ハードウェア プラットフォームによって、ファイル システムの名前は、例に表示されるとものは異なる可能性があります。 （注） パスのところでファイルの代わりにディレクトリを指定する場合、ディレクトリ名は path flash:/*directory*/ のように後ろにスラッシュを付ける必要があります。このスラッシュはファイル名の後ろでは必要ありません。ディレクトリを指定する場合にだけ使います。
ステップ 4	switch(config-archive)# **maximum** *number* 例： `switch(config-archive)# maximum 14`	（任意）設定アーカイブに保存する実行設定のアーカイブ ファイルの最大数を指定します。 • 数字は設定アーカイブに保存する実行設定のアーカイブ ファイルの最大数を指定します。指定できる範囲

	コマンドまたはアクション	目的
		は 1 ～ 14 です。デフォルトは 10 です。 （注） Before using this command, you must configure the **path** to specify the location and filename prefix for the files in the configuration archive.
ステップ 5	switch(config-archive)# **time-period** *minutes* 例： `switch(config-archive)# time-period 10`	（任意）コンフィギュレーション アーカイブに現在実行中のコンフィギュレーションのアーカイブ ファイルを自動保存する間隔を設定します。 • 設定アーカイブに現在の実行設定のアーカイブ ファイルをどれほどの頻度で自動保存するかを、*minutes* 引数により分単位で指定します。 （注） Before using this command, you must configure the **path** command to specify the location and filename prefix for the files in the configuration archive.
ステップ 6	switch# **archive config** 例： `switch# archive config`	現在の実行設定ファイルを設定アーカイブに保存します。 （注） コマンドを使用する**path**前に、を設定する必要があります。 **archive config**
ステップ 7	switch# **show archive log config all**	すべてのユーザのコンフィギュレーション ログ エントリを表示します。

設定ログに関する情報

設定の変更通知およびロギングは、設定ログを保持することで実行している変更を追跡します。この設定ログは、CLI または HTTP から開始される変更のみ追跡します。アクション ルーチンの呼び出しが発生する完全なコマンドが記録されます。次の種類の入力はログに記録されません。

- 結果的に構文エラー メッセージが表示されるコマンド
- デバイス ヘルプ システムを呼び出す一部のコマンド

設定ログは、CLIからのみ開始した変更を追跡します。実行される各設定コマンドでは次の情報が記録されます。

- 設定変更のシーケンス番号
- コマンドが実行された設定の回線
- コマンドを実行したユーザーの名前
- 実行されたコマンド

You can display the information from the configuration log by using the **show archive log config all** command

実行される各設定コマンドでは次の情報が記録されます。

- 実行されたコマンド
- コマンドが実行されたコンフィギュレーション モード
- コマンドを実行したユーザーの名前
- コマンドが実行された時間
- 設定変更のシーケンス番号
- コマンドへのパーサー返還コード

You can display the information from the configuration log by using the **show archive log config** command, with the exception of the parser return codes, that are used for an internal purpose only.

設定ログ エントリの表示

To display the configuration log entries, the configuration change logging provides the **show archive log config all** command.

手順

ステップ 1 switch # **show archive log config** *number* [*end number*]

すべてのユーザの設定のログ エントリが表示されます。

例：

```
switch# show archive log config all

NDEX   LINE                    USER          LOGGED COMMAND
1       console0                user01       | logging console 1
2       console0                user01       | logging monitor 2
3       console0                user02       | system default switchport shutdown
4       console0                user02       | interface mgmt0
5       console0                user02       |  no shutdown
```

ステップ 2 switch# **show archive log config user username**

Displays the configuration log entries for the specified username.

例：

次の例では、指定されたユーザ名の設定のログ エントリが表示されます。

```
switch# show archive log config user user02

INDEX   LINE                    USER          LOGGED COMMAND
3       console0                user02       | system default switchport shutdown
4       console0                user02       | interface mgmt0
5       console0                user02       |  no shutdown
```

ステップ 3 switch# **show archive log config user username first-index start-number [last-index end-number]**

インデックス番号設定ログエントリが表示されます。オプションの最終インデックス番号を指定すると、指定されたユーザのエンド番号から開始番号を入力した値の範囲でインデックス番号を持つすべてのログ エントリが表示されます。

例：

次の例では、設定ログエントリ 4 および 5 user02、ユーザ名を持つユーザの番号が表示されます。最初のインデックスと最後のインデックスの範囲は 1 ~ 20億です。

```
switch# show archive log config user user02  first-index 4 last-index 5
Last Log cleared/wrapped time is : Wed Oct 19 00:53:08 2016


INDEX   LINE                    USER          LOGGED COMMAND
4       console0                user02       | interface mgmt0
5       console0                user02       |  no shutdown
```

デバイス コンフィギュレーションの確認

POAP を使用してデバイスのブートストラップ後の設定を確認するには、次のコマンドのいずれかを使用します。

コマンド	目的
show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。
show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの『Cisco Nexus Command Reference』を参照してください。

コンフィギュレーション ファイルを使用した作業例

ここでは、コンフィギュレーション ファイルを使用した作業例を示します。

コンフィギュレーション ファイルのコピー

次に、bootflash: ファイル システムに実行コンフィギュレーションをコピーする例を示します。

コンフィギュレーション ファイルのバックアップ

この例では、bootflash: ファイル システムにスタートアップ コンフィギュレーションをバックアップする方法を示します（ASCII ファイル）。

```
switch# copy startup-config bootflash:my-config
```

この例では、TFTP サーバにスタートアップ コンフィギュレーションをバックアップする方法を示します（ASCII ファイル）。

```
switch# copy startup-config tftp://172.16.10.100/my-config
```

この例では、bootflash: ファイル システムに実行コンフィギュレーションをバックアップする方法を示します（ASCII ファイル）。

```
switch# copy running-config bootflash:my-config
```

以前のコンフィギュレーションへのロールバック

設定を以前に保存された設定のスナップショット コピーにロールバックするには、次の手順を実行してください。

1. Clear the current running image with the **write erase** command.
2. Restart the device with the **reload** command.

（注） デフォルトで、**reload** コマンドは、スタートアップ コンフィギュレーションのバイナリ バージョンからデバイスをリロードします。

Cisco NX-OS 6.2(2) 以降、**reload ascii** コマンドを使用して、デバイスのリロード時にコンフィギュレーションの ASCII バージョンをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーできます。

3. Copy the previously saved configuration file to the running configuration with the **copy** *configuration_file* **running-configuration** command.
4. Copy the running configuration to the start-up configuration with the **copy running-config startup-config** command.

コンフィギュレーション ファイルに関する追加情報

ここでは、コンフィギュレーション ファイルの管理に関する追加情報について説明します。

コンフィギュレーション ファイルの関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
ライセンス	『*Cisco NX-OS Licensing Guide*』
コマンド リファレンス	